

食品のリスクを考えるサイエンスカフェ(山形県)－食品と放射性物質－

参加者数：	31
アンケート回収数：	29

<アンケート記入者について>

①性別		
回答内容	件数	割合
男性	14	48.3%
女性	15	51.7%
無回答	0	0.0%
計	29	100.0%

②年齢		
回答内容	件数	割合
20歳未満	0	0.0%
20歳代	0	0.0%
30歳代	7	24.1%
40歳代	6	20.7%
50歳代	8	27.6%
60歳代	3	10.3%
70歳代以上	5	17.2%
無回答	0	0.0%
計	29	100.0%

③職業(立場)		
回答内容	件数	割合
①消費者団体	11	37.9%
②主婦・学生・無職	0	0.0%
③生産者	0	0.0%
④食品関連事業者・団体	7	24.1%
⑤マスコミ	0	0.0%
⑥行政(自治体職員、独法職員)	7	24.1%
⑦食品関連研究・教育機関	0	0.0%
⑧その他	2	6.9%
無回答	2	6.9%
計	29	100.0%

その他()

農水省産学官連携CO
食品検査機関・放射性物質検査機関

④意見交換会情報入手手段		
回答内容	件数	割合
自治体からの案内資料	13	44.8%
関係者からの案内資料	8	27.6%
知人からの紹介	0	0.0%
その他	8	27.6%
無回答	0	0.0%
計	29	100.0%

その他()

消費者団体
行政間情報
メルマガ
ホームページ
FAX
食品安全委員会メールマガジン

⑤あなたは「100%安全な食品はないこと」について、どう思われますか？		
回答内容	件数	割合
強くそう思う	15	51.7%
ややそう思う	13	44.8%
あまりそう思わない	1	3.4%
全くそう思わない	0	0.0%
わからない	0	0.0%
無回答	0	0.0%
計	29	100.0%

問2. 本日のフォーラムについて

①フォーラムに参加した目的

回答内容	件数	割合
①食品中に含まれる放射性物質について	18	50.0%
②放射性物質について自分の意見や考え	2	5.6%
③他の参加者の意見や考えを聞きたかった	7	19.4%
④これまででない取組で面白そうだったから	0	0.0%
⑤少人数で相互対話に関心があったから	1	2.8%
⑥国、自治体の行うリスクコミュニケーション	5	13.9%
⑦その他	1	2.8%
()		
無回答	2	5.6%
計	36	100.0%

※複数回答している方がい

②どの程度満足できるものでしたか？

回答内容	件数	割合
①十分満足	3	10.3%
②ほぼ満足	16	55.2%
③あまり満足できなかった	5	17.2%
④まったく満足できなかった	0	0.0%
⑤どちらでもない	0	0.0%
無回答	5	17.2%
計	29	100.0%

③、④満足できなかったと答えた方に伺います。

満足できなかった点(具体的に)

データ不足などで、なかなかこれという数字が示されなかった。何を基準に考えたらよいか、ますますわからなくなりました。

放射線量の数値基準がやはりあいまいな点はある。研究開発に期待したい。

時間が足りなかった。

質問を出したが、回答に納得がいかなかった。

納得がいく回答がない部分もあったので。

どちらでもない

問3. 本日のフォーラムについてどう思われたか？

回答内容	件数	割合
①評価する	12	41.4%
②まあまあ評価する	14	48.3%
③あまり評価しない	0	0.0%
④まったく評価しない	0	0.0%
無回答	3	10.3%
計	29	100.0%

理由

自由に話し合える機会があってよかった。
質問に対する回答が丁寧だった。
所属団体名、身分を明かさないと部分で、リラックスした雰囲気よかったと思う。
参加者に質問・意見を書かせたのは、その後の話し合いのタネになってよかった。
色々な立場・職業の人が、それぞれどんな疑問・感想を持っているのがわかった。
時間延長後の話が有意義であった。(機械メーカーさん、福島の農水省の方)
消費者の意見が聞けてよかった。
質問をしやすかったです。いろんな意見が出しやすくていいですね。
意見しやすい・出しやすい雰囲気は良いと思いますが、今一番関心の高い事柄だと思うので、多くの方が参加できるようにする事も大切だと思います。
大変有意義な時間を持ってました。今後に活きてと思います。
放射線についての理解を深められる大変良い会であったと思います。
さまざまな団体や個人の方の意見・考え方が聞けてよかったです。
参加された皆さんの意見や質問を交換できて、よい機会をいただけたと思います。
じっくり意見交換するには良い形だと思うが、少人数なので回数を多くしていただきたい。
少人数のため、個々の意見に対して丁寧に議論できたのでは。回数を増加できれば良いと思う。
どのような意見が出るのか事前に把握できないなど主催者側の不安はあったかもしれないが、比較的自由に意見・質問ができていいと考えます。

問4. フォーラムの進め方について、会の全体を通じて感じた印象は？

i. フォーラムの開催手続きは適切であった

回答内容	件数	割合
①たいへんそう思う	4	13.8%
②そう思う	14	48.3%
③あまりそう思わない	5	17.2%
④そう思わない	2	6.9%
無回答	4	13.8%
計	29	100.0%

ii. 情報提供「食品と放射性物質」は理解できた

回答内容	件数	割合
①たいへんそう思う	7	24.1%
②そう思う	16	55.2%
③あまりそう思わない	2	6.9%
④そう思わない	1	3.4%
無回答	3	10.3%
計	29	100.0%

iii. 情報提供「山形県の対応」は理解できた

回答内容	件数	割合
①たいへんそう思う	6	20.7%
②そう思う	17	58.6%
③あまりそう思わない	2	6.9%
④そう思わない	1	3.4%
無回答	3	10.3%
計	29	100.0%

iv. 意見交換の進め方は良かった

回答内容	件数	割合
①たいへんそう思う	6	20.7%
②そう思う	17	58.6%
③あまりそう思わない	2	6.9%
④そう思わない	1	3.4%
無回答	3	10.3%
計	29	100.0%

v. 意見交換時に話題提供者、司会者は質問にきちんと回答していた

回答内容	件数	割合
①たいへんそう思う	3	10.3%
②そう思う	19	65.5%
③あまりそう思わない	2	6.9%
④そう思わない	4	13.8%
無回答	1	3.4%
計	29	100.0%

vi. 食品中の放射性物質のリスクについて参加する前に比べ理解が深まった

回答内容	件数	割合
①たいへんそう思う	10	34.5%
②そう思う	14	48.3%
③あまりそう思わない	0	0.0%
④そう思わない	1	3.4%
無回答	4	13.8%
計	29	100.0%

vii. 自分の食生活に今回のフォーラムで知った内容はいかせる

回答内容	件数	割合
①たいへんそう思う	7	24.1%
②そう思う	16	55.2%
③あまりそう思わない	1	3.4%
④そう思わない	1	3.4%
無回答	4	13.8%
計	29	100.0%

問5. 本日の意見交換会について、ご意見や感想をお書き下さい

<p>専門的な問題で、なかなか難しかったです。 今日の学習は日常生活にどう活かせるのか？流通している毎日食べる食品は、規制された数値をクリアしたものと信じている全く受身の生活で、何かをどうにか変えなくてはならないのか？私は年齢が高いので、今更どう…ですね。でも若い方、子供を持つ親は勉強していくべきだと思います。 正しく理解して、正しく恐がりましょう。</p>
<p>放射性問題は今後長期に渡り色んなリスクが出る事と思います。これにどう向き合っていくか各自の取り組みかと思う。</p>
<p>リスクとしては、効率的ではないように思う。</p>
<p>食品中の放射性物質のリスクについては、個人的には大騒ぎするようなものではないと思っている。病気に対するリスクは放射性物質だけではなく。個人の持っている遺伝子、生活環境等によってかなり異なる。一律に線引きする必要はない。もちろん基準は大切であるが、消費者には選択の自由、自己責任という一面もある。他人任せにはいけず、情報を知識として仕入れたからというのみにせず、個々人で取捨選択する必要があると考えている。</p>
<p>食品安全委員会事務局の方の話が聞けて、大変参考になった。</p>
<p>前回質問者がいなかったということは、人数の問題ではないと思います。開催日(平日・日中)と広報の方法で関心を持つ人は多いと思います。再考の程。 ・資料の字が細かくて読めません。(他に下部黒塗りの所)事前に点検してください。 ・要するに危険としたデータが不十分なままの基準の感じです。 ・汚染された土壌の除染と適した作物はあるのでしょうか。 ・今後、汚染が広がらないように対策をとってほしい。</p>
<p>・機の配置を、全員が顔を見合わせるようにした方がよかったですと思います。(コの字型) ・食品安全委員会と県の対応について説明を聴けて、参加してよかったですと思います。 ・国や県の情報を正確に公表していただきたい。</p>
<p>とにかく前代未聞の出来事だったので、その対応も大変なのはよくわかる。データがない中での食品のリスクを論ずることは難しい。 その中で食品安全委員会の説明は、わからないことはわからないと正直で大変好感を持った。いろんな意見が出て総合的に良かったと思う。</p>
<p>時期が時期ですので、大勢の方々の参加の方がよかったですのではないかと思います。情報提供よろしく願いいたします。</p>
<p>次回も山形で行ってください。</p>
<p>30名の参加でしたが、参加希望者の倍率はどのくらいだったのでしょうか？毎日ニュースでベクレルの数値だけ取り上げているが、それよりも今国民にアナウンスしなければならないのは、ベクレル数値よりシーベルトの数値や物質学的半減期と生物学的半減期について理解させることが大切なのではないのでしょうか？</p>
<p>基本的なところから専門的なところまで、意見を得ることができました。毎日のように報道されている「放射能」ですが、最近は報道も落ち着いてきているように感じます。一人一人の関心とこれからの体制が重要になってくるのではないかと思います。</p>
<p>楽しい形のフォーラムでした。ありがとうございました。放射線の問題は処理できないものが地球上にどんどん増えて、自分たちの首をしめていることだと思います。 健康でふつうの生活ができる地球がいつまでも続くよう、祈ると共に、努力したいと思います。</p>
<p>食品毎の規制値に対して非常に注意が高いが、最終的に一日にどのくらいの量を食べているかわからないという不安があるのではないかと？ 一品毎だけでなく、通常の食事で一日どの程度まで食べても安全なのか教えてもらえれば、もっと安心できるのではないのでしょうか？</p>
<p>放射線に関する質問は多方面に渡るので、厚労省の人も参加してほしい。</p>